

1. 次の文章を読んで問いに答えなさい。(答えはすべて解答欄に記入すること)

- ① 芸ごとと学問とでは、事情の違うところもあるが、まなぶ側の積極的意欲が根本だという点では、まったく同じことだと私は考えている。うけ身では学問はできない。学問は自分がするものであつて誰かに教えてもらうものではない。
- ② もし学校において、教師はできるだけ教えまいとし、学生は何とかして教師から知恵をうばいとしてやろうと(ア)つとめる、そういう厳しい対立と抗争の関係が成立するならば、学校というものの教育的効果は、いまの何層倍かにものぼるのではないかと、私は想像している。
- ③ そういうことを考えると、いまの学校という制度は、学問や芸ごとをまなぶには、かならずしも適当な施設とはいいいにくい。今日、学校においては、先生が教えすぎるのである。親切に、あまりにも親切に、なんでもかでも、教えてしまうのである。そこで学生は教えてもらうことになれて、みずからまなぶことを知らない、ということになってしまう。
- ④ ある芸ごとの名人の言だということだが、つぎのようなことばを聞いたことがある。「芸ごとのコツというものは、(イ)師匠から教えてもらうものではない。ぬすむものだ。」というのである。おしえる側よりもならう側に、それだけの意欲がなくては、なにごとにも上達するものではない、という意味であろう。

(梅棹 忠夫 『知的生産の技術』より)

問 1 上の文章の並べ方として最も適切なものをA～Eの中から選びなさい。

- A ②→①→③→④
 B ①→③→②→④
 C ③→④→②→①
 D ④→①→③→②
 E ④→②→③→①

問 2 文中の(ア)「つとめる」を漢字に直したときに、この場合の用法として最も適切な漢字をA～Dの中から選びなさい。

- A 勤める B 努める C 務める D 勉める

問 3 文中の(イ)のよみがなを解答欄に記入しなさい。

問 4 日本の代表的芸ごとのひとつである、能の奥義について記した「風姿花伝」の作者は誰か、A～Eの中から選びなさい。

- A 観阿弥 B 吉田兼好 C 世阿弥 D 鴨長明 E 藤原定家

2. 次の問いに答えなさい。(答えはすべて解答欄に記入すること)

問 5 次の□に入る適切な語を後ろの□から選んで漢字に直し、同義語をつくりなさい。解答はその文字のみを記入しなさい。

- 1 手柄 — 功 □
 2 達成 — □ 就
 3 我慢 — 忍 □
 4 用意 — □ 備
 5 一新 — □ 新
 6 欠点 — □ 所

せい	せき	かく	そう	そく	たい	ちょう
たん	じゅん	こう	じょう	しゅく	さつ	びん

問 6 次の下線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなになおしなさい。

1. カブシキを公開する
 2. 外国にボウメイする
 3. 着物のスンポウが合わない
 4. 工場が閉鎖される
 5. 証拠物件を押収する
 6. 病床の祖母を見舞う

1. 次の文章を読んで問いに答えなさい。(答えはすべて解答欄に記入すること)

- ① 有名な(ウ)定家の「見渡せば花も紅葉のなかりけり浦のとまやの秋の夕ぐれ」という歌がありますが、これは単純に花も紅葉もないといっているではありません。
- ② 思い浮かべた上で、それが「ない」というわけであって、その結果生まれる歌の効果は、ちょうど満月にひとひらの雲をかけたのと同じことになりましょう。
- ③ 文字通り、花も紅葉も実在しなければ、それを「ない」という必要さえないわけで、実はこの歌は(ア)曲折したかたちで花と紅葉があることを歌っているのです。
- ④ 薄暗くて寒さむとした浦のとまやそれ自体が美しいのではなくて、その(イ)アイロニカルな二重構造—うしろに花と紅葉があり、前に秋の夕暮れが見える、そのダブルイメージが美しいのです。
- ⑤ 花と紅葉という詞を書けば、たといそのあとに「ない」という否定が付いても、人はうっすらと花と紅葉のイメージを思い浮かべることになります。

問 1 上の文章の並べ方として最も適切なものをA～Eの中から選びなさい。

- A ①→③→⑤→②→④
- B ①→②→④→③→⑤
- C ①→③→④→⑤→②
- D ①→②→⑤→④→②
- E ①→④→③→⑤→②

問 2 文中の(ア)のよみがなを解答欄に記入しなさい。

問 3 文中(イ)アイロニカルを日本語で表したときに最も近い意味のものをAからEの中から選びなさい。

- A 類似的な B 反語的な C 感動的な D 耽美的な E 感覚的な

問 4 文中(ウ)定家が後鳥羽天皇の命を受けて編纂に携わった八大集のひとつの和歌集の名前を下記のA～Eより選びなさい。

- A 古今和歌集 B 拾遺和歌集 C 後拾遺和歌集 D 千載和歌集 E 新古今和歌集

2. 次の問いに答えなさい。(答えはすべて解答欄に記入すること)

問 5 次の□に入る適切な語を後ろの□から選んで漢字に直し、対義語をつくりなさい。解答はその文字のみを記入しなさい。

- 1 精密 — 粗 □
- 2 辞退 — □ 諾
- 3 仮性 — □ 性
- 4 浪費 — □ 約
- 5 権利 — □ 務
- 6 水平 — □ 直

せい	ざつ	かい	しょう	ほん	しん	けん
せき	ぎ	こう	じょう	しゅく	たい	すい

問 6 次の下線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなになおしなさい。

- 1. ユメダワラを荷車に積む 2. シュウシヨク試験を受ける 3. 砂鉄をジシャクで集める
- 4. 責任を転嫁するのは良くない 5. 裁判の陪審制度を検討する 6. 不思議な出来事に遭遇した